

港区立がん在宅緩和ケア支援センター
指定管理者候補者選考委員会
報 告 書

令和4年7月1日

港区立がん在宅緩和ケア支援センター
指定管理者候補者選考委員会

目 次

はじめに

I	選考した指定管理者候補者について	1
II	選考経過について	2
III	選考対象者について	4
IV	選考結果について	5
V	最終選考結果について	7

本報告書は、港区立がん在宅緩和ケア支援センターの指定管理者候補者を選考するにあたり、「港区立がん在宅緩和ケア支援センター指定管理者候補者選考委員会」における審査の経過及び結果について報告するものです。

港区が定めた「港区指定管理者制度運用指針」では、民間事業者等のノウハウやアイデアを活用した事業の充実、専門性を有した職員を配置しての継続的なサービスの提供、社会状況に応じたサービスの迅速な提供など、効率的かつ効果的に質の高い区民サービスの提供が可能となる施設について、積極的に指定管理者制度を導入するとしています。

「港区立がん在宅緩和ケア支援センター指定管理者候補者選考委員会」は、このような視点を踏まえた上で、港区立がん在宅緩和ケア支援センターの設置目的を最大限に活かし、効率的・効果的に区民サービスを提供することができる候補者の選考を行いました。

審査にあたっては、常に厳正さと公正さを確保するとともに、委員会として委員の総意の下に結論を導き出すよう努めました。

港区立がん在宅緩和ケア支援センター指定管理者候補者選考では1事業者のみの応募だったため、主に応募事業者の適格性について審議しました。

応募事業者の提案は、現状の課題を的確に捉え、かつ、将来を見据えた提案であったため、指定管理者を公募した目的が十分達成されたものと感じています。

選ばれた事業者には、港区立がん在宅緩和ケア支援センター設置条例に定める目的の達成に向け、指定管理者として十二分に力を発揮されることを強く期待いたします。

令和4年7月1日

港区立がん在宅緩和ケア支援センター指定管理者候補者選考委員会
委員長 吉田 道彦

I 選考した指定管理者候補者について

1 指定管理者候補者

名 称	学校法人 慈恵大学
代表者	理事長 栗原 敏
所在地	東京都港区西新橋3丁目25番8号

2 対象施設

施設の名称	所在地
港区立がん在宅緩和ケア支援センター	東京都港区白金台4丁目6番2号 ゆかしの杜5階

3 指定期間

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）

4 選考の理由

- (1) 良好な財務状況とともに、がん全体について診断・治療等の知識・経験が豊富な大学病院等のサポート体制があり、安定した事業運営が期待できる。
- (2) 事業者として、大学としての専門的な知識とともに、専門医などの人材も豊富に揃えている。治療・在宅と幅広く様々な領域をカバーできる人員体制に厚さがあり、幅広い事業展開が可能である。
- (3) 事業者は港区での歴史が古く、組織として地域への貢献を掲げており、公共的な使命を担い事業活動している。区が行う緩和ケアについても、当施設の主たる事業である5つの機能（相談・交流・普及啓発・調整・人材育成）に力を入れるなど、区の事業目的を十分に理解している。
- (4) 関係機関の調整や認知度向上などの当施設の課題点を十分理解している。これまでの実績を踏まえて課題解決のための取組として港区内の関係機関との連絡会やイベントを企画、またSNSの活用や口コミによる認知度向上など新たな事業を企画しており、今後の事業展開に期待ができる。

Ⅱ 選考経過について

1 選考の方法

(1) 第一次審査

応募法人から提出された申請書類及び計画書類について、財務関係書類、基本的事項の適格審査、計画書類に対する評価をもとに総合的な審査を行い、第一次審査通過者として選考しました。

(2) 第二次審査

第一次審査通過者に対して、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、(第一次審査と第二次審査とを併せた)総合評価により指定管理者候補者を選考しました。

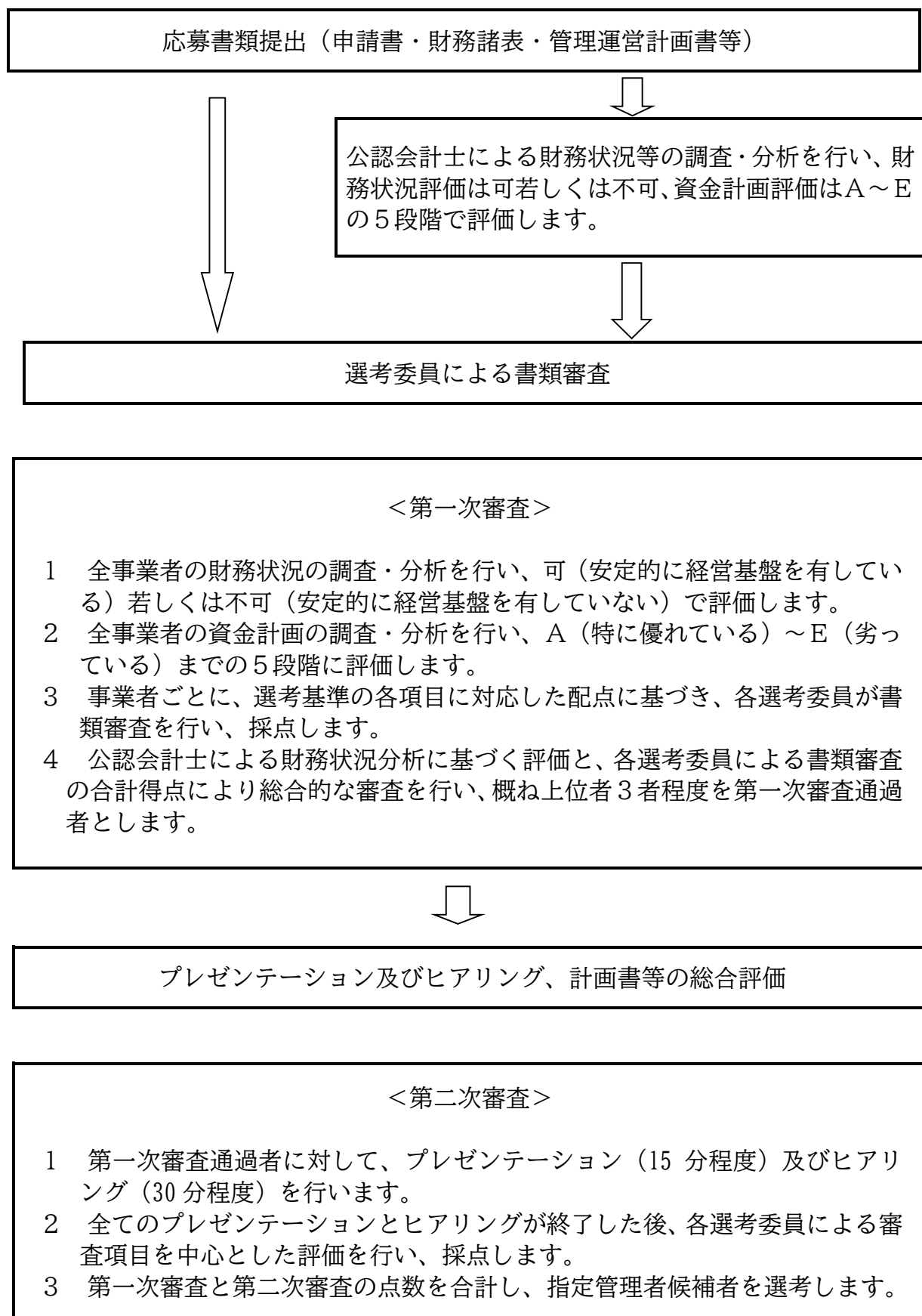
2 選考委員会の構成

委員長	吉田 道彦	医療法人社団楓の風 在宅療養支援クリニック かえでの風 やまと
副委員長	太田 留奈	みなと保健所長
委員	小宮山 由香	港区介護事業者連絡協議会 訪問看護部会 部会長
//	緑川 道子	一般社団法人東京都港区医師会 理事
//	野上 宏	保健福祉支援部保健福祉課長

3 公認会計士

坂本 亮	坂本亮公認会計士事務所
------	-------------

4 選考の進め方



5 選考委員会等の開催状況及び経過

(1) 第1回選考委員会

日 時 令和4年4月8日(金曜日) 午後7時～午後9時
場 所 みなと保健所 5階会議室3・4
議 題 委員の委嘱について
候補者の選考方法について
公募要項について
選考基準について

(2) 公募手続き

ア 公募要項説明会 令和4年4月21日(木曜日)
イ 質問書受付 4月11日(月曜日)～4月26日(火曜日)
ウ 質問への回答 5月2日(月曜日)
エ 申請書類受付(第一次提出) 4月11日(月曜日)～5月13日(金曜日)
オ 計画書類受付(第二次提出) 4月21日(木曜日)～5月31日(火曜日)

(3) 第2回選考委員会(第一次審査)

日 時 令和4年6月17日(金曜日) 午後7時～午後9時
場 所 みなと保健所 5階会議室3・4
議 題 応募事業者の財務状況等について
第一次審査(書類審査)
第二次審査の方法について

(4) 第3回選考委員会(第二次審査)

日 時 令和4年7月1日(金曜日) 午後7時～午後9時
場 所 みなと保健所 5階会議室3・4
議 題 第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)
候補者の決定について

Ⅲ 選考対象者について

No	事業者の名称	所在地
1	学校法人 慈恵大学	東京都港区西新橋3丁目25番8号

IV 選考結果について

1 第一次審査

(1) 財務状況分析等について

公認会計士による財務状況調査分析等報告書に基づき説明がありました。

ア 財務状況評価

法人より提出された財務諸表（決算報告）を基に、財務規模、収益性、安全性について、数値及び比率分析等により、安定的に継続して指定管理業務を行うことができるか否かを、可若しくは不可の絶対評価を行いました。

イ 資金計画評価

法人より提出された資金計画書を基に、資金・収支計画の正確性、安全性、収支見込の妥当性、運転資金調達の確実性、事業計画との整合性、経費見積もりの妥当性などについて数値及び比率分析により、A～Eの5段階総合評価を行いました。

(2) 選考基準表に基づく採点

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計による選考を実施しました。

順位	事業者の名称	財務状況 評価	資金計画 評価	合計点数 (1,000点満点)
1	学校法人 慈恵大学	可	A	727

※ 財務状況評価基準

可（安定的に経営基盤を有している）、不可（安定的に経営基盤を有していない）

※ 資金計画評価基準

A：特に優れている、B：優れている、C：普通、D：やや劣っている、E：劣っている

(3) 選考経過

各委員が各候補者の提案内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
学校法人 慈恵大学	<ul style="list-style-type: none">・ がん全体について診断・治療等の知識・経験が豊富な大学病院等のサポート体制があり、安定的な事業運営が期待できる。・ 専門医などの人材が豊富なことから、がんの宣告時点から治療、在宅と広く様々な領域をカバーできる人員体制に厚さがあり、幅広い事業展開が可能である。・ 相談体制において、がん患者の状態や背景に応じた柔軟な体制が確保されている。・ がん患者やその家族、地域医療関係者など様々な立場の人の参加や交流を促すイベントを提案しており、幅広い事業展開に期待ができる。・ 普及啓発事業の提案について、対象者が若者だけでなく関係団体や大学、学生を含めた総合的な取組を企画しており、意欲的である。

以上の点を総合的に勘案して、1事業者を第一次審査通過者としました。

2 第二次審査

(1) プレゼンテーション及びヒアリング

第一次審査通過事業者が15分のプレゼンテーションを行った後、管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容に基づき30分程度のヒアリングを行い、選考基準により審査しました。

(2) 採点結果

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計と第一次審査の合計点を合算した総合点数をもとに順位付けをしました。

順位	事業者の名称	総合点数 (1,500点満点)	第一次審査点数 (1,000点満点)	第二次審査点数 (500点満点)
1	学校法人 慈恵大学	1,063	727	336

(3) 選考経過

各委員が第一次審査通過 1 事業者の管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
学校法人 慈恵大学	<ul style="list-style-type: none">・ 安定した事業母体であり、様々な専門人材を豊富に有していることから、安定した事業運営が期待できる。・ 歴史が古く、組織自体が港区への貢献、公共的な使命を担っており、区が行う事業の意味を十分に理解している。・ がん全体について、診断、治療、精神的な医療の知識・経験が豊富であることから、在宅緩和ケアをさらに充実していくことが期待できる。・ 施設の課題点を十分理解しており、柔軟性をもって課題解決に取り組んでいく姿勢を感じられ、今後の事業展開に期待ができる。

V 最終選考結果について

最終選考結果

総合得点 1,500 点に対して採点結果は 1,063 点であり、提案書の内容、事業者の体制ともに評価できるものでした。

選考委員会の総意として、「学校法人 慈恵大学」を港区立がん在宅緩和ケア支援センター指定管理者候補者として選考します。